

ふるさと鷹巣を愛し、未来を拓く生徒の育成

福井市鷹巣中学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	5回
地域及び家庭への学校公開	17回

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	35人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	117人
登下校支援ボランティア	300人
その他 ()	人

(3) 特色ある活動

テーマ 「 ふるさと教育 」

具体的活動内容

(1) 菘浦太鼓の継承

菘浦太鼓は、地区を活気づけようと、校下の菘地区で36年前に始まった。本校では約10年前からこの太鼓を継承しようと、生徒に希望者を募り、夏休みから1回2時間で10回程度、その創設者を講師に招いて練習し、校内体育大会や文化祭で演奏を披露している。生徒たちの太鼓をたたくたくましい姿は、地域の人たちの心を打ち、生徒たちも地域の伝統文化を継承しようと強い気持ちを持っている。



【校内体育大会にて】

(2) ヨサコイイッチョライ

校下の免鳥地区に伝わる民謡「免鳥夜網節」を生徒たちが主体となってアレンジしたヨサコイイッチョライは、本校の伝統となっている。

3年生から実行委員を募り、その生徒が中心となって全校生徒に踊りを教え、鷹巣地区の夏祭りや福井市のフェニックスまつり、そして校内体育大会で披露している。また、3年に一度開催される鷹巣公民館主催の文化祭でも演技し、文化祭を大きく盛り上げた。地区の方々は中学生の力強いヨサコイを毎年楽しみにしていて、地域の活性化の一助になっているとともに、生徒たちはヨサコイを通して、地域の一員としての自覚を高め、地域への愛着と誇りをもつ絶好の機会となっている。



【鷹巣夏祭りにて】

(3) 地域文化の学習

鷹巣地区には、住民が鷹巣の文化を題材に制作した「たかすカルタ」がある。本校1年生は、このカルタをもとに地域学習に取り組み、本校の文化祭で劇を交えながら調べたことを発表している。

成果と課題

生徒や保護者へのアンケートの結果を見ると、地域での活動や地域の人たちとの交流を大切にしたいという意識が高かった。また、本校の伝統行事や地域に伝わる文化を大切に継承したいという気持ちが強く、生徒たちはいろいろな活動に積極的に取り組んでいる。

しかし、将来への夢や目標については、望ましい結果にまでは至らなかった。地域の人たちとの交流を通して、目標を持って活動する生徒を育成していきたい。

